

を対象にし、1月にさかのぼり3月までを対象期間とする。

施設園芸燃油価格高

施設園芸燃油価格高

静岡県

温用燃油購入量に對し、全国平均価格から基準価格の1.83・1の2分の1以内を補助する。8億4700万

件。対象期間中の平均果、3日に同県連が川勝平太知事に要請、補正予算案が実現した。

(静岡)

ノウフク・アワード GP 含め25団体表彰

京丸園(静岡)、さんさん山城(京都)

農水省やJA全中、経団連などで行く「農福連携等応援コンソーシアム」は8日、農福連携の優れた事例を表彰する「ノウフク・アワード2021」の表彰式を東京都新宿区で開いた。障害者も多様な人材が参加し、地域活性化に貢献する25団体表彰。グランプリ(GP)の「京丸園」(静岡県浜松市)、障害者就労支援事業所「さんさん山城」(京都府京田辺市)が取り組みを発表した。「京丸園」の鈴木緑さんは、障害者や老若男女が働きやすいユニバーサル農園を実践していることを紹介。「多様な人の活躍する場を目指す取り組みとして、広がっていくといい」と訴えた。



城島さん(左)から記念品を受け取る京丸園の代表(写真上)と、さんさん山城の代表(写真下)。(いずれも8日、東京都新宿区で)

再造林の作業短縮

農林中央金庫と全森連組合で3県試験報告

農林中央金庫と全国森林組合連合会(全森連)は8日、木を伐採した跡地に再び植林する「再造林」の低コスト化事業についてのシンポジウムをオンラインで開いた。実証試験を進める長野、広島、宮崎の3県で伐採と栽植を完了したことを受け、各県の研究者が成果を報告。定植したコウヨウザンの活用につ

いても情報共有した。日本では人工林の半分が一般的な伐期の50年を超す一方、立木価格の低迷や高い造林・育林費用によって再造林が進んでいない。こうした背景から①伐採・造林の一体作業②コンテナ大苗・早生樹(コウヨウザン)の活用③疎植——を核として再造林にかかる費用削減を目指す事業を2

で発表。聴覚障害の人を中心に、宇治茶やエビモノなど伝統野菜の生産と加工に取り組んでいることを報告。「手話は大切な宝物」と手話を使って仕事をできる喜びを語った。ノウフクアンバサダーでTOKIOの城島茂さんも式典に駆け付

け、「農福のテーマである共生は永遠に伝えなければいけない。本当に素晴らしい取り組み」とエールを送った。JA全中の中家徹会長はビデオメッセージを寄せ、全国のJAに農福連携が波及するよう支援していくとした。

に開設した。資材高騰や資金繰りに関する支援事業、価格高騰が懸念される輸入小麦の安定確保に向けた相談窓口などを紹介する。同省の燃油、肥料価格高騰に関する対策や、日本政策金融公庫など各機関の農業者、中小事業者への資金繰り支援を取り上げる。輸入小麦の政府売り渡し価格などに関する相談窓口も掲載する。原材料費などのコスト上

の雑草・雑木よりも早く生育。下刈りの手間が省けるとした。3県の研究担当者からは「苗木の活着や生育が良かった」「伐採と植林を一体的に行うことで森林づくりへの貢献意識が高まった」などの反応があった。一方で「慣れない作業体系で苦労した」などの声も上がった。

た1月の国際収支赤字幅が拡大 財務省 財務省が8日発表した1月の国際収支は、経常887億、2力

JA全中「農政推進セミナー」

農水省の枝元真徹事

東京電力福島第1原子力発電所事故による食品の「風評被害」に関する消費者庁の調査で、被害を防ぐには「食品の安全に関する情報提供」が必要と考える人が半数を占め

防ぐには 情報の提供が有効

などの消費者 ーネットでも 60代の51.7 回答を得た。 「『風評被害』 止するために こと」に、故 の検査結果

主権 憂する (山口) 入額増加

円相場(8日)

米ドル(銀行間17時)

115円45銭

44銭安

前市